

ビジネス EXPO

第31回 北海道 技術・ビジネス交流会 「躍動、革新、北海道！」



展示会、商談会、ビジネスセミナーなど大盛会
2日間の来場者数は**20,850名!!**

- 開催日：2017年11月9日（木）～10日（金）
- 出展者数：345企業・団体・大学・研究機関
- 出展規模：294小間、スペース939㎡

北海道の経済活性化や産業振興のため、新たなビジネスチャンスの創出を目指した北海道最大の展示会“ビジネスEXPO「第31回 北海道 技術・ビジネス交流会」”が11月9日（木）・10日（金）の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで開催されました。

今年で第31回の開催となりましたが、今回は、「躍動、革新、北海道！」をテーマに、出展者数は**345社・機関**、出展規模は**294小間**、スペース**939㎡**と、昨年同様、**過去最大規模**の開催となりました。

開会式では、名誉会長代理/北海道副知事 辻 泰弘 氏、実行委員長（ノーステック財団理事長）高橋賢友 氏の開会挨拶を始め、児嶋北海道経済産業局長、町田札幌副市長のご挨拶、及び、主催・同時開催機関計14名によるテープカットにより開会いたしました。

会場内は、5ブロックに分かれた総合展示会に加え、「平成29年度 北海道新技術・新製品開発賞受賞企業展」、「平成29年度 北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞受賞企業展」、「資源リサイクルフォーラム2017」、「北のブランド・ものづくりフェア2017」、「北のITシーズフェア2017」、「ものづくり補助金 成果事例発表会」、「ものづくりなでしこゾーン2017」の7つ同時開催事業や、2階交流レセプションホールでのビジネスセミナーの開催を含めた多彩な展示・イベントとなり、**大盛況の開催**となりました。

今回は、到来する未来社会をイメージするための展示やセミナーを開催し、**寒冷地仕様のコンパクトEV（電気自動車）**の展示、小型宇宙ロケットなど**宇宙**への取組み、**人工知能・ロボット**の可能性に関するセミナーなどがあり、会場には、経営者・ビジネスマンなど多数の来場者に加え、大型バスを連ねて見学に来られた大学・研究機関などの団体や、商工関係者グループなど遠来の見学者もありました。また各コーナーでは独創性のある製品や新しい技術等の情報に耳を傾ける様子が見られました。

また、今回のトピックスとして、北海道経済再生、その成功のキーワードは、労働人口の拡大であり、そのため、次の2項目を本イベントに加えしました。

1. 「女性の社会参画」
2. 「未来ある若者の道内企業への就職」

本イベントでは、「女性の社会参画」を応援するために、「ものづくりなでしこゾーン2017」を開催し、ものづくり現場で生き活きと活躍されている女性社員の皆さんが、会社の製品や技術のPRを実施し、多くの来場者、マスコミの注目を浴びておりました。さらに今回は、**道内の工業高校や高専そして大学など、約30の学校にビジネスEXPOへの来場をお願いし、学生向け企業説明会も開催いたしました**が、期待以上の多くの学生が来場し、各ブースの担当者に技術的な質問を真剣に投げかけ、さらには、就職に関する相談等を実施するなど、会場内は熱気に包まれていました。



2日間とも多数の来場者の方々にお越しいただき、さまざまな製品や技術を興味深くご覧いただきました。



今回の**来場者は、過去最大の20,850名**と、**2万名超え**を達成し、会場内は多くの人波となりました。平日開催ということで、B to B、ビジネスマン向けのイベントと認識しておりましたが、例年にもまして、**真剣な眼差しの経営者・ビジネスマン・大学生**が集まり、また、一人あたりの滞留時間が例年にもまして長い兆候も見受けられ、会場内は大変な活況となりました。

会期中の入場者数は、次のとおりとなっております。

●今年の入場者数

11月 9日 (木)	9,922 名	(前年度: 9,685 名)
11月10日 (金)	10,928 名	(前年度: 10,732 名)
合計	20,850 名	(前年度: 20,417 名)

近年になく、商談の成立やパンフレットの配布、受取名刺の数が多いなど、出展者の好評の声が多く主催者としても一安心の結果となりました。会場でご記入いただいたアンケート結果については、別途報告させていただきます。次回開催時も、多数の御出展および御来場をお願いいたします。